

令和7年度墨田区地域自立支援協議会精神部会 活動報告

1. 開催日時

第1回: 令和7年7月11日(金)15:00～16:30

第2回: 令和8年2月予定

2. 協議事項

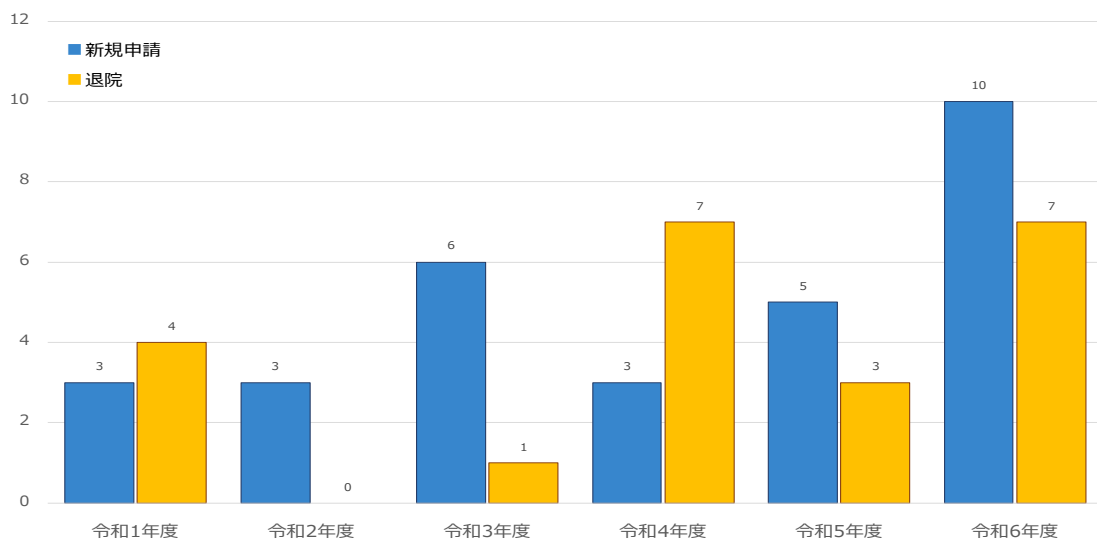
●精神障害にも対応した地域包括ケアシステムについて

墨田区の自立支援医療の受給者は人口の 2.1%、精神保健福祉手帳の取得者は人口の 1.2%である。そのような中では、行政だけでなく、地域で理解をして支援いただけるような仕組み作りが必要である。地域の普及啓発活動について、地域の事業所が行っている地域交流や日頃の交流などについて情報共有を行う。

- ・地域の NPO や企業、消防団、町会、祭り等に参加をしたりすることで地域交流を広げている。
- ・当事者を巻き込みながら活動をしている中で、「精神障害者」ではなく、「この事業所のこの人たち」という人との関係性の中で、支援をしてくれる方ができた。
- ・一方でその時の利用者によっては一緒に地域活動が難しく、事業を広げることが難しい事業所もある

●地域移行支援事業について実績報告

地域移行支援件数の推移（令和元年度～令和6年度）



●基幹相談支援センターの実績報告

すみだ障害者基幹相談支援センター(令和6年1月開設)の役割について説明

①総合相談、専門相談窓口(相談内容に応じて情報提供や適切な関係機関を紹介・専門職を配置して相談支援事業所等からの相談に対応)

②障害者虐待防止センター

③相談支援体制の強化者の質の向上(相談支援事業者への支援検証、検討の場、年間6回)

④地域移行支援の病院アンケート(長期入院者の状況把握 51.2%の回答)

●その他

- ・障害者の高齢化について介護保険課や高齢者福祉課と障害者関連の協議の場があるとよい。
 - ・地域生活支援拠点がまだ形になっていないが、今後の方向性を教えてほしい。
 - ・具体的な課題について検討できるように、回数を含めて会議のあり方を検討できるとよい
- ←第2回開催に向けて、現在委員にアンケート今後の精神部会のあり方について聴取している。